

パソコンをステキな発想道具にかえる方法 2007.7.31

1 自己紹介

コバヤシトールとは?  
 発想研究者  
 脳研究者  
 ではなく  
 ソフトウェアクリエイターです  
 PCソフトウェア  
 Webコンテンツ

こんなものつくってました  
 motion dive .tokyo  
 LIFE with PhotoCinema 2  
 ID for WebLIFE  
 新作 BIND for WebLIFE (9月発売)  
 誰でも使えるということ 余計な機能いらない  
 ユーザーが主役になれること 誰かの秘密兵器  
 これがあるから限界が打ち破れる 誰かの自信の素

ソフトウェアで表現したいこと  
 つまり 人生のきっかけになり、前に進むことができる、なにか  
 便利かどうかより、必要とする人に向けて精確こめて作りたい  
 そういふ観点で作られるソフトって意外と少ない

じゃ、マインドピースは?  
 必要なものは自分  
 自分のためのソフトを作ろう  
 せっかくなのでMPで進めましょう

2 僕を悩ませていた「頭の〇〇つまり」

アイデアがまとまらなかったその理由とは?  
 うまくいかない  
 アイデアが効率よくまとめられない  
 メモをとっても  
 ノートにまとめても  
 勉強法がわからない  
 本を読んでも知識にならない感  
 1週間前に感銘した本の内容覚えてない  
 同じ本を買ってる  
 人に説明するのが下手だ  
 しどろもどろ  
 膨らむと戻れない  
 つまり 断片的にアイデア浮かぶがまとめられない  
 頭のなかがいつもゴチャゴチャ

こんなことがあった  
 ある会議の途中、誰かが回らまともに出した  
 それってこういうことじゃないですかね?  
 そうそう、そういうこと! みるみるうちに整理されていく  
 湧き出るアイデア、ホワイトボードいっぱい  
 ポストイットまるまで  
 ファンつまりが解消されたかのように

そこで気づいたスベキリするための方法  
 言葉をその場で図にする手法  
 マインドマップ  
 よどみなく発想できる方法  
 KJ法  
 つまり その場で発想を並べ、粘土のようにこねこねしたかった  
 しかも美しく! スナップショット例

5 MP式☆読書法

MP式☆読書法  
 忘れないための読書ノートを書くための心得。  
 マップ化は記憶に  
 よいのです。  
 脳科学の研究によると  
 関連づけて覚えれば  
 知識記憶  
 精緻化  
 内容を適合させてより豊富にする版の作業  
 教科書の挿絵  
 経験記憶  
 自分が必要だと思うことだけをマップにする  
 作者と対話し、欲しい情報を聞き出す  
 作者の意図をすべてくみとらない  
 作者が伝えたいことは全体の4~11%らしい  
 自分だけの目次をつくるということ  
 つまり

4 MP式☆発想法

発想が苦手なアナタへ  
 発想って才能だなあと  
 思っていないですか?  
 それ、まちがってます  
 才能ではなく技術  
 「アイデアとは、既存の組み合わせ以外のなものでもない」  
 By ヤング  
 POINT  
 アウトプットが大事  
 出して、その中で組み合わせをみつけてみるのが大事  
 考えこむより大事なこと  
 アイデアの万難鏡を気軽にのぞいてみればよい  
 つまり

MP式☆発想法 <基礎編>  
 基本  
 1 ひたすら思いつく限り書いていく (列挙法)  
 2 ピース同士に繋がり感じたらグルーピング (KJ法)  
 3 1 & 2を繰り返し、ひとつのマップに仕上げる (マインドマップ法)  
 こんな感じで ステージテマを変えてみる  
 ピースをバラバラにし、背景テマに重ねてみる  
 煮詰まったら  
 発想の組み合わせが見つからないとき  
 MP式☆オズボーンのチェックリスト法  
 9問のリストに照らし合わせてみる  
 1 転用したら? (そのまま新しい使い道は?)  
 2 応用したら? (似たものはないか? まねできないか?)  
 3 変更したら? (意味、色、動きや形を変えたらどうなる?)  
 4 拡大したら? (大きくする、長くする、時間を延ばす)  
 5 縮小したら? (小さくする、短くする、短時間にする)  
 6 代用したら? (代わりになる人や人物? 材料、場所は?)  
 7 置換したら? (入れ替わったら? 順番をかえたら?)  
 8 逆転したら? (逆さまにしたら? 役割を反対にしたら?)  
 9 結合したら? (合体したら? 混ぜたら?)  
 発想のどうかがな過ぎるとき  
 MP式☆写真発想法  
 写真から受けたインスピレーションをそのまま活かしてみる  
 ステージテマに特徴的な写真を使う  
 大事なことを忘れてしまったときなど  
 MP式☆記憶蘇生法  
 1 中央にタイトルが空白のままのピース  
 2 思い出せる範囲で特長などを周辺のピースに書き込む  
 3 それらのピースで中央ピースをくるとり囲んでみる

3 マインドピースの操作法

1 マインドピース操作法 <基礎編>  
 これだけ知っておけば十分  
 ルール  
 1 ひとつひとつの項目をピースと呼びます  
 2 ピースをドラッグするとラインで接続されます  
 3 必要に応じて、ピースやラインをカスタマイズします  
 ツールバーがありません  
 気になる箇所をクリックして表示されるボタンを押す  
 リターンキー  
 タブキー  
 矢印キー  
 しかも、ワープロ並みのキー操作です  
 例えはこんなふうに  
 KJ法的なアイデアだし  
 マインドマップ的なアイデア出し

2 マインドピース操作法 <中級編>  
 ピースに脚注文を添付したい  
 ノード機能  
 ピースをカスタマイズしたい  
 シェイプ、フォント、ラインを変更  
 ピースの状態を表示したい  
 ステータス機能  
 自動的に順番をつけたい  
 オートナンバリング機能  
 ピースをグループにしたい  
 ラベル機能  
 ピースに画像をつけたい  
 イメージ機能  
 ピースをToDo項目にしたい  
 チェックボックス機能

3 マインドピース操作法 <上級編>  
 ホームページやファイルにリンクしたい  
 URLリンク  
 ローカルファイル  
 メールに添付したいとき  
 テキストコピー機能  
 同じスタイルを使いたい  
 スタイルコピー機能  
 デフォルトのスタイルを指定したい  
 デフォルトスタイル機能  
 他のソフトと連携したい  
 OPML書き出し機能  
 マインドピース書類をリンク